

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	13	施策名	スポーツの推進		
小施策コード	13-4	小施策名	プロスポーツ等との連携		
小施策 主管課等コード	049000	小施策 主管課等名	スポーツ推進課		
評価責任者名	山本 英朝		内線番号	6400	
評価シート作成者名	曾根田 雅彦		内線番号	6401	

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
「週 1 回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	↑	%	31.1	28.9	27.3	56.0	71.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

## Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
市民，プロスポーツ団体等	市民のスポーツへの関心を高める。
現状と課題	本市をホームタウンとするプロスポーツのチームの活躍は、まちの活性化、スポーツ人口の拡大など、さまざまな効果が期待できるため、市民の関心を高めるさまざまな施策を講じる必要がある。
取組の方向性	市民のスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを通じた地域活性化を目指して、プロやプロを目指すチームとの連携を図る。

## Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
プロチーム等のチーム会員数	↑	人	2,177	13,799	1,831	14,000	24,000

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

## Step 4 市民ニーズの把握

岩手ビッグブルズが実施した会員1万人プロジェクトの取組や希望郷いわて国体に岩手県チームとして出場したグルージャ盛岡などプロスポーツチームの活躍は、地域の賑わいや交流人口の拡大に寄与することから市として支援する必要性が生じている。

## Step 5 役割分担分析

### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	チーム力強化や市民に愛されるチームづくりへの支援を行う。	40
	国・県・ 他自治体	岩手県の財産としてプロスポーツチーム支援の具体策を講じる必要がある。	10
	市民・ NPO	プロスポーツチームの会員となりチームを応援する。	25
	企業・ その他	プロスポーツチームを支援するスポンサーになる。	25

### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

市は、これまでプロスポーツチームの活動拠点となる施設の整備やホームスタジアム・ホームアリーナとして優先的な利用が可能となるよう努めてきたものであり、今後も球団への直接投資は行わず、球団運営会社が安定的に自立した経営が可能となるよう更なる市民等のファンクラブへの入会や企業の支援を受けられるよう自助努力が必要と考えられるため。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

サッカーJ3のグルージャ盛岡のみではなく、J P B L 2部の岩手ビッグブルズとの連携により、相互の試合観戦割引の創設や試合以外でも楽しめるイベントの実施など球団運営会社と連携した施策を検討する。

### 2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
相互の試合観戦割引	岩手ビッグブルズとグルージャ盛岡の試合観戦可能なコラボチケットの発売を行った。	A

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

(2) 成果をあげた要因

(3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

(2) 現状の問題点が生じている原因

(3) 分析した原因の解決に向けた課題

## Step 8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業
- 2 1で記載した事業についてその理由
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

市は、プロスポーツ球団に対する直接的な支援は基本的に行わず、試合会場や練習施設の優先利用やプロスポーツ支援として施設使用料の軽減、試合情報や会員加入促進支援などを継続する方針であり、球団運営会社の自立的・安定的な経営を支援していく。